



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 松田産業株式会社

コード番号 7456 URL <http://www.matsuda-sangvo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 松田 芳明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役IR部長

(氏名) 木下 敦視

TEL 03-5381-0728

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	126,135	△6.3	2,756	△25.4	3,296	△17.8	2,239	△19.4
27年3月期第3四半期	134,539	7.1	3,696	3.1	4,009	△1.0	2,779	4.6

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 1,921百万円 (△39.4%) 27年3月期第3四半期 3,171百万円 (△9.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	84.48	—
27年3月期第3四半期	104.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	72,458	51,994	71.8
27年3月期	73,427	51,176	69.7

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 51,991百万円 27年3月期 51,173百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	12.00	—	13.00	25.00
28年3月期	—	14.00	—		
28年3月期(予想)				14.00	28.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

28年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 13円00銭 記念配当 1円00銭

28年3月期期末配当金の内訳 普通配当 13円00銭 記念配当 1円00銭

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	163,000	△9.2	3,000	△44.6	3,600	△38.3	2,500	△25.2	94.32

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	28,908,581 株	27年3月期	28,908,581 株
28年3月期3Q	2,574,760 株	27年3月期	2,308,999 株
28年3月期3Q	26,504,402 株	27年3月期3Q	26,617,197 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢は改善傾向にあり、緩やかな回復基調が続いているものの、個人消費マインドや、国内の生産活動及び輸出などに弱さが認められる状況で推移しており、先行きについては、国内の物価上昇や中国をはじめとしたアジア新興国経済の下振れ懸念など、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループの貴金属関連事業においては、貴金属原料の確保、化成品等の製品販売及び産業廃棄物処理受託の拡大に鋭意取り組むとともに、海外の拠点の拡充にも積極的に取り組み、ベトナムの現地法人において貴金属製錬工場の本格稼働の準備を進めております。また、食品関連事業においても海外拠点の強化と顧客ニーズを捉えた商品の提供に取り組み、販売量の拡大に努めております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高126,135百万円（前年同四半期比6.3%減）、営業利益2,756百万円（前年同四半期比25.4%減）、経常利益3,296百万円（前年同四半期比17.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,239百万円（前年同四半期比19.4%減）となりました。

各セグメント別の概況は次のとおりであります。

貴金属関連事業

当事業の主力顧客である半導体・電子部品業界は、スマートフォンや自動車等の市場動向に左右されて落差が見られ、総じて生産状況は減少傾向であり、また、写真感材業界の市場縮小も継続しております。このような中、貴金属リサイクル及び産業廃棄物処理の取扱量や、貴金属製品及び電子材料等の販売量が減少し、金を除いた販売価格の下落もあり、全体としての売上高は前年同四半期に比べ減少しました。

これらの結果、当該事業の売上高は80,864百万円（前年同四半期比12.7%減）、営業利益は1,896百万円（同32.1%減）となりました。

食品関連事業

当事業を取り巻く状況は、企業物価の上昇に支えられて食品製造業の生産指数はわずかに上昇しているものの、個人消費マインドには依然として弱さが見られるなど、厳しい事業環境が継続しております。このような中、畜産品及び農産品の販売数量は減少しましたが、水産品の販売数量が増加し、全体的な価格の上昇もあり、売上高は前年同四半期に比べ増加しました。

これらの結果、当該事業の売上高は45,323百万円（前年同四半期比7.9%増）、営業利益は859百万円（同4.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ968百万円減少し、72,458百万円となりました。これは主としてたな卸資産とその他流動資産の減少によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,786百万円減少し、20,464百万円となりました。これは主として未払法人税等の減少によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ817百万円増加し、51,994百万円となりました。これは主として配当金の支払いによる減少を親会社株主に帰属する四半期純利益による増加が上回ったことによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ563百万円増加し、6,424百万円となりました。

（営業活動のキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における営業活動により増加した資金は2,274百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益、たな卸資産及びその他流動資産の減少による資金の増加と、売上債権の増加及び法人税等の支払いによる資金の減少の差引によるものです。なお、前年同四半期の3,506百万円の資金の減少に比べ5,781百万円増加しました。

（投資活動のキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における投資活動に使用した資金は665百万円となりました。これは主として工場設備の新設・更新等の有形固定資産取得によるものです。なお、前年同四半期の1,914百万円の支出に比べ1,249百万円の支出減少となりました。

（財務活動のキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における財務活動により減少した資金は750百万円となりました。これは主に配当金の支払い及び自己株式の取得によるものです。なお、前年同四半期の4,009百万円の資金の増加に比べ4,759百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績が予想を下回ったことと、貴金属関連事業が対象とするエレクトロニクス産業等の低迷に加えて、貴金属相場の下落基調も引き続き予想されることから、平成28年3月期の通期連結業績予想を平成27年11月13日に公表した予想値から下記のとおり修正いたしました。

平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 183,000	百万円 4,600	百万円 5,100	百万円 3,400	円 銭 128.28
今回修正予想(B)	163,000	3,000	3,600	2,500	94.32
増減額(B-A)	△20,000	△1,600	△1,500	△900	—
増減率(%)	△10.9	△34.8	△29.4	△26.5	—
(ご参考) 前期実績 (平成27年3月期)	179,523	5,410	5,832	3,342	125.61

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、
第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金
として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、
第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額
の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、
四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更
を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表
の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業
分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来
にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,003	6,424
受取手形及び売掛金	19,218	21,746
商品及び製品	16,576	15,333
仕掛品	309	272
原材料及び貯蔵品	6,667	5,687
繰延税金資産	485	206
未収入金	653	587
その他	3,501	1,989
貸倒引当金	△41	△9
流動資産合計	53,374	52,238
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,870	8,158
減価償却累計額	△4,096	△4,272
建物及び構築物(純額)	3,773	3,885
機械装置及び運搬具	7,199	7,379
減価償却累計額	△5,115	△5,523
機械装置及び運搬具(純額)	2,083	1,855
土地	7,852	7,710
リース資産	150	279
減価償却累計額	△60	△93
リース資産(純額)	89	185
建設仮勘定	419	330
その他	1,047	1,045
減価償却累計額	△772	△811
その他(純額)	274	234
有形固定資産合計	14,494	14,202
無形固定資産		
その他	188	192
無形固定資産合計	188	192
投資その他の資産		
投資有価証券	3,911	4,338
その他	1,605	1,556
貸倒引当金	△147	△70
投資その他の資産合計	5,369	5,824
固定資産合計	20,052	20,219
資産合計	73,427	72,458

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,922	7,540
短期借入金	3,582	5,017
1年内返済予定の長期借入金	1,298	923
リース債務	33	54
未払法人税等	1,401	84
賞与引当金	627	325
未払金	856	593
繰延税金負債	-	112
その他	2,779	2,550
流動負債合計	18,502	17,200
固定負債		
長期借入金	2,546	1,872
リース債務	56	131
役員退職慰労引当金	599	626
退職給付に係る負債	113	24
繰延税金負債	408	581
その他	24	26
固定負債合計	3,748	3,263
負債合計	22,250	20,464
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,559	3,559
資本剰余金	4,008	4,008
利益剰余金	43,942	45,464
自己株式	△2,621	△3,008
株主資本合計	48,888	50,023
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	543	583
繰延ヘッジ損益	△79	258
為替換算調整勘定	1,798	1,100
退職給付に係る調整累計額	22	24
その他の包括利益累計額合計	2,285	1,967
非支配株主持分	2	2
純資産合計	51,176	51,994
負債純資産合計	73,427	72,458

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	134,539	126,135
売上原価	122,311	114,259
売上総利益	12,227	11,875
販売費及び一般管理費	8,531	9,119
営業利益	3,696	2,756
営業外収益		
受取利息	6	8
受取配当金	17	19
持分法による投資利益	313	480
仕入割引	12	11
受取家賃	27	7
受取保険金	18	6
補助金収入	2	53
その他	32	26
営業外収益合計	430	612
営業外費用		
支払利息	33	29
為替差損	43	0
賃貸収入原価	19	-
固定資産除却損	5	12
その他	15	30
営業外費用合計	116	72
経常利益	4,009	3,296
税金等調整前四半期純利益	4,009	3,296
法人税、住民税及び事業税	1,074	681
法人税等調整額	154	375
法人税等合計	1,229	1,056
四半期純利益	2,779	2,239
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,779	2,239

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	2,779	2,239
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	150	40
繰延ヘッジ損益	△178	337
為替換算調整勘定	367	△684
退職給付に係る調整額	5	2
持分法適用会社に対する持分相当額	46	△13
その他の包括利益合計	392	△318
四半期包括利益	3,171	1,921
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,171	1,920
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,009	3,296
減価償却費	981	896
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11	△109
賞与引当金の増減額(△は減少)	△303	△302
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△81	△85
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△20	26
受取利息及び受取配当金	△23	△27
支払利息	33	29
持分法による投資損益(△は益)	△313	△480
売上債権の増減額(△は増加)	△5,937	△2,669
未収入金の増減額(△は増加)	676	64
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,813	2,068
仕入債務の増減額(△は減少)	237	△233
未払金の増減額(△は減少)	△397	△328
その他	654	2,028
小計	△2,308	4,174
利息及び配当金の受取額	55	125
利息の支払額	△33	△29
法人税等の支払額	△1,219	△1,995
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,506	2,274
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△121	-
定期預金の払戻による収入	-	142
有形固定資産の取得による支出	△1,633	△688
無形固定資産の取得による支出	△14	△47
投資有価証券の取得による支出	△7	△8
投資有価証券の売却による収入	-	2
その他	△137	△65
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,914	△665
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	5,259	1,434
長期借入金の返済による支出	△475	△1,048
自己株式の取得による支出	△95	△387
配当金の支払額	△639	△716
その他	△39	△32
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,009	△750
現金及び現金同等物に係る換算差額	110	△296
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,300	563
現金及び現金同等物の期首残高	6,798	5,861
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,497	6,424

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	92,577	41,961	134,539	—	134,539
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	48	52	△52	—
計	92,580	42,010	134,591	△52	134,539
セグメント利益	2,794	901	3,696	—	3,696

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	80,860	45,274	126,135	—	126,135
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	49	52	△52	—
計	80,864	45,323	126,188	△52	126,135
セグメント利益	1,896	859	2,756	—	2,756

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。